

## 核兵器廃絶と武力紛争回避による世界恒久平和を求める意見書

今なお、世界の各地では民族・宗教・思想・国情の違いによる武力紛争が後を絶たず、その被害を受ける人類の多くが路頭に迷い、深い混迷と極度な貧困の中で生活している。一方で、歴史と伝統のある貴重な文化遺産が破壊され、大きな損失となっている。武力紛争によって得ることがないことに気づき、いかに平和が大切であるかを人々は認識すべきである。

主要国の中には、貿易・情報などで外交上の対立が見られ、人類が最も危惧する核兵器についても、昨年トランプ米大統領のイラン核合意離脱表明以来、中東の情勢は一触即発の危機が懸念されるまでに緊張が高まってきている。東アジアにおいても、核による国力誇示と軍拡を進める国々の対抗が顕著となっている。

この時期、平成から令和への新たな時代を迎え、核兵器の保有国・非保有国の橋渡し役を自任するわが国は、核兵器の廃絶と武力紛争を回避するため、世界の恒久平和の確立を目指し、最大の努力と貢献を尽くすよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年10月3日

岐阜県郡上市議会

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣